

特任研究員 募集要項

- 1 職名及び人数： 特任研究員（特定有期雇用教職員） 1名
- 2 採用予定日： 令和4年5月1日以降早期
- 3 契約期間： 期間の定め：有り  
(採用決定日～令和5年3月31日)
- 4 更新の有無： 有り  
更新する場合は、契約期間満了日の翌日に行い、以後1年ごとに行うものとする。  
ただし、更新はプロジェクト等又は業務の性質等により定める期間に限定され、  
更新回数は3回、在職できる期間は令和8年3月31日を限度とし、以後更新しない。  
※更新の判断基準：予算の状況、業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、  
勤務態度、健康状況等を考慮のうえ、判断する。
- 5 試用期間：採用された日から6か月間
- 6 就業場所：東京大学大学院新領域創成科学研究科（千葉県柏市柏の葉5-1-5）
- 7 所属： 新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻藤本研究室
- 8 業務内容： 走行中給電システムの研究開発と、車両を用いた日本初の走行中給電の公道での実証実験を担当。研究テーマは走行中給電システムのハード、制御設計と幅広く、プロジェクトの目標達成に寄与する研究テーマであれば自由に設定可能。既に在職している特任講師、特任助教と協力しながら研究を実施。プロジェクトに参加している複数の研究機関との共同研究の推進を担当。共同研究の推進により多くの成果が期待できる。学生との研究に関するディスカッションや週1回の研究室内の発表会への参加。プロジェクトの進捗に大きな影響を与えない範囲(エフォート20%程度)であれば自らで行う外部資金獲得や共同研究が可能。
- 9 就業日・就業時間 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる
- 10 時間外労働： 無
- 11 休日： 日曜日、土曜日、祝日法に定める休日、12月29日から翌年1月3日までの日、その他特に指定する日
- 12 休暇： 年次有給休暇、特別休暇 等

13 給与

俸給（月額）	:	年俸制を適用し、業績成果手当を含め月額 32 万円～60 万円程度 （資格、能力、経験等に応じて決定）
教育研究連携手当	:	無
業績・成果手当	:	有
通勤手当	:	支給要件を満たす場合、当方規定により算出した額を支給（上限 55,000 円/月）
住居手当	:	無
扶養手当	:	無
昇給	:	無
賞与	:	無
退職手当	:	無
超過勤務手当	:	無

14 加入保険 : 社会保険： 有  
雇用保険： 有（法の定めるところにより加入要件を満たした場合加入）

15 給与支給日： 月末締め、原則当月 17 日払い

16 応募資格 : 着任時に博士号あるいは修士号を取得している方  
新しいことに挑戦することが好きな方(パワーエレクトロニクス、制御、  
ワイヤレス電力伝送、電気自動車をテーマとした研究の経験があると尚良)  
東京大学の公共性を自覚し、使命を持って働ける方  
協調性が有り、特に若手教員・大学院生とのチームワークを尊重できる方

17 提出書類 : ・東京大学統一履歴書（以下 URL からダウンロードし作成すること）  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>  
・職務経歴・業績一覧（様式任意。実務経験について具体的に記述のこと）  
・志望動機（A4 版 1 枚程度／様式は任意） 抱負や職務遂行上有益な能力・経験・  
知識・性格等の説明

※原則として応募書類は返却しません。

また、応募書類等により本学が知り得た個人情報、今回の職員採用の選考のみに使用しますので、  
予めご了承ください

18 提出方法 : 上記書類の電子ファイルを問い合わせ先にメール送信すること  
2～3 日以内に当方から受信確認メールが届かない場合はお問い合わせください。

19 応募締切 : 令和 4 年 6 月 3 日（金）17 時必着。※応募は随時受付。採用者決定次第、締切。  
書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。面接時の旅費支給はございません。  
感染状況によってオンラインによる面接の可能性有。

20 採否の通知 : 電話又は e-mail で個別に連絡します。

- 21 問い合わせ先： 〒277-8561 千葉県柏市柏の葉5-1-5  
東京大学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻藤本研究室  
担当： 山田翔太  
TEL: 04-7136-3881  
e-mail: yamada.s アット edu.k.u-tokyo.ac.jp (アットは@に変更)
- 22 募集者名称： 国立大学法人 東京大学 大学院新領域創成科学研究科
- 23 その他： 取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。  
東京大学男女参画加速のための宣言 (2009.3.31)に基づき、女性の積極的な  
応募を歓迎します。